

## 「雨の今昔」

仙北市長

門脇 光浩

最近、雨恐怖症になっていま  
す。ゲリラ豪雨には思いやりが  
ありません。小さい頃は、茅葺  
き屋根をつたい、軒先に落ちる  
雨粒の音が大好きでした。雨の  
神様は、優しい降らせ方をわす  
れたのでしょうか。

さて、よく諸先輩の皆さんに、  
昔はああだった・こうだったと  
お話をいただきます。自分も議  
論の最中で、「以前は…」と口  
にしかけて言葉飲み込むこと  
があります。確かに経験に勝る  
知識はありません。でも今は昔  
ではなく、普通の対応では、  
今起こっていることに立ち向か  
えないのが実情です。特に災害  
対応などは、現状判断の在り方  
が市民の生死に直結します。  
それにしても…です。どうし  
て被災箇所は原形（災害を受け  
る前の姿）に復するだけで、将  
来さらに起こるかも知れない災

害をくい止める「プラスα事業」  
ができないのか、理解に苦し  
みます。仮にそんな制度があつた  
ら、何度と同じ場所で災害は起  
こらないし、経費も不要になる  
はずで、分かっていて何もし  
ないで、その末に起こる災害は  
天災ではなく人災でしょ。  
フチ切れながら、あれこれ文  
句を言って歩く毎日が続きま  
す。

※

広報リニョール作戦で、「げ  
んき通信」のタイトルが「まち  
づくり日記」に変わりました。  
掲載回数は続けてのカウントで  
す。



がんばる！

### 女性消防団

今回は…

小松 明美

#### 救命・AED講習を受けて

近年、至るところでAEDが設置さ  
れているのを見かけます。私たちは6  
月25日に角館消防署で、「救命・A  
ED講習」を受けてきました。

AEDは私たち一般市民が救命の現  
場で使用できるものです。心臓が痙攣  
し、血液を流すポンプ機能を失った状  
態になった心臓に対して電気ショック  
を与え、正常なリズムに戻すための医  
療機器です。

教えていただいたのは、AEDを使  
用することだけでなく、その前の心肺  
蘇生法が大切だということです。「倒  
れているところを発見し、意識のない  
人がいたら、何もしないよりも心臓  
マッサージだけでも怖がらず行っても  
らいたい」いざという時は勇気をもつ  
て、救いの手を  
差し伸べてほし  
いということでした。

実際、そういう  
場面に遭遇した  
ときは慌ててし  
まうと思います。



講習終了後、角館消防所長から終了証をいただきました。

ぜひ何かの機会にAED講習を受けて  
ほしいと思います。「大切な命を救  
いたい…」この気持ちを忘れずにいた  
いと思います。

お忙しい中ご指導くださった角館消  
防署員の皆さん、ありがとうございました。